

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 【浅海小学校】

### <全学年：海と友達になろう>

1・2年生の生活科では、「シーグラス・貝殻集め」「生き物探し」「砂浜遊び」「ところてん作り」の活動を行った。3～6年生の総合的な学習の時間では、各児童の興味・関心をもとにグループを編成し、課題追究活動を行った。「ものづくりグループ」は、集めたシーグラスや貝殻を使って生活に生かせる物を作った。「塩グループ」は、塩の作り方や働きを調べた後、海水を煮詰めて塩を作る活動をした。「釣りグループ」は、浅海の海で釣れるさかなや釣りの餌・仕掛けなどを調べた上で、釣りに挑戦した。「生き物グループ」は、たくさんの生き物を見つけて採取し、名前や特徴を調べて写真記録も行った。その後、全校で発表会を行った。グループごとに自分たちの活動の様子や活動して分かったことなどを、「ロイロノート」などのICTを積極的に活用して発表した。活動の終わりには、地域の方々にも協力していただきながら海岸清掃を行った。

学習活動を通して、海を守りたいという思いを強くし、地域の方の協力を得ながら清掃活動を体験することで、地域の方々と一緒に地域を守っているという気持ちを育み、正しくごみを分別することの大切さも確認した。ところてん作りや釣った魚の調理を体験することで、生活を支える海の豊かさやそれを守る大切さにも気付いた。

### <第3・4学年：防災について考えよう>

浅海地区の災害について調べ、土砂崩れの跡地を見学したことで、災害は身近で起こっていることを知り、防災の必要性を強く感じた。また、災害の原因を調べたことで、温暖化が大きく関係していることを知り、環境を守ることが自分たちの生活を守ることにつながることに気付いた。非常食を体験したり避難グッズを集めたりすることで、自分たちの災害に対する備えを見直したり、災害時の安全な行動について確認したりした。また、避難所での生活を調べることで水や清潔な生活環境が心身の健康のためには不可欠であることにも気づき、地域の自然環境や生活環境を見直すことにもつながった。

